

運輸部では、学生に旅の素晴らしさを伝え、自分の将来を考えるきっかけとなる「若旅★授業」を実施しています。これまでもに松城中学校（1月19日）、真和志高等学校（2月2日）において開催しました。

## 松城中学校

沖縄初となる「若旅★授業」の第1回目に沖縄ツーリスト（株）の田邊兼一氏を講師にお招きし、全校生徒の前でご講演いただきました。田邊氏は、高校時代のサッカー遠征でスペインを訪問したことなどがきっかけで、日本とヨーロッパの歴史や文化、習慣の違いに触れ、現在はヨーロッパなど世界の魅力を伝えたいと海外ツアーハンサム企画・造成を担当しています。

講演では、田邊氏が学生時代に夢中になっていたことや将来の夢や目標がないまま大学進学したことでの失敗した経験、ヨーロッパ好きが高じて旅行会社に入社したことから始まり、生徒へ伝えたいこととして、「旅先での出会いが自分を成長させてくれる」「自分の足を運んで、広い

世界の雰囲気や地域ごとに違う風の“におい”を感じよう!」「勉強を始めるのに年齢は関係ない」「旅は自分に自信を与えてくれる」をキーワードに、これまで訪問した南極大陸をはじめ世界各国の世界遺産や建造物の写真をクイズ形式で織り交ぜながら、旅で得られた経験を披露していただきました。



「若旅★授業」を聴講する松城中学校の生徒たち



南極含め32の国と地域を旅した経験を披露



クイズ形式で授業を進める講師の田邊兼一氏

第2回目は県内でも珍しい単位制高校で英語を選択する1年3年生を対象に、沖縄ツーリスト株の玉城今氏にご講演いただきました。玉城氏は、高校時代のホームステイ、大学時代のワーキングホリデーでの経験を通じ、自己紹介や日本、沖縄を紹介する機会の中で沖縄の素晴らしさを紹介する喜びを仕事にしたいと入社。現在は、本店営業部チーフとして活躍されています。



「若旅★授業」を聴講する真和志高校の生徒たち

また、留学・ワーキングホリデー先での生活や旅行を通じて感じたこととして、「やりたいことはやつてみないとわからない」「とりあえずやってみる」「旅は自分を成長させる」という言葉とともに、「自分なりの旅の形を見つけてください!」と、生徒へエー



ワーキングホリデーの仕組みを交え旅の魅力を披露



生徒目線で自らの経験を語る講師の玉城今氏

ルを送つていただきました。運輸部では、今回の取組を踏まえ、講演を希望する学校と講師のマッチングを行うなど、「若旅★授業」を継続的に実施しています。

### 【講演を聞いた後の旅行に対する意識の変化】

今回の授業をうけて生徒の旅行に対する意識は以下の様に変化しました。国内・海外旅行に「とても行きたい」の割合が特に増えました。

	(講演前)		(講演後)	
○国内旅行	とても行きたい	48.3%	→	とても行きたい 58.0%
	行きたい	35.4%	→	行きたい 30.9%
○海外旅行	とても行きたい	42.7%	→	とても行きたい 52.5%
	行きたい	24.5%	→	行きたい 28.3%

(松城中学校アンケート結果)